



幸手中学校だより

平成31年2月1日(金)発行

校 是

「全力は美なり」

学校教育目標

「学び続ける生徒」「心豊かな生徒」「活力ある生徒」

【生徒数】

1年 164名 2年 160名 3年 207名 合計 531名

幸中生のよさを伸ばそう -聴く力の充実-

教頭 山村 一久

幸手中学校での生活が始まり、はや1年がたとうとしています。そのなかで、幸中生のよさをいくつも発見してきました。その一つが「聴く」ということです。朝礼の様子や暑い中での「たちばな祭」にそれが見てとれます。幸中生には、私語をすることなく、話し手に真剣に顔を向けて「聴く」姿勢があります。ここでは、あえて「聞く」ではなく「聴く」を使っています。一般に「聞く」とは、「物音を聞く」「話し声が聞こえる」のように、音や声が自然に耳に入ってくることを意味します。一方、「聴く」とは「音楽を聴く」「講義を聴く」「国民の声を聴く」のように、積極的に耳を傾けることを意味しています。多くの生徒に「聴く」姿勢ができていることは素晴らしいことです。

耳には自然と音が入ってきます。しかし、聴こうとしなければ、その音は頭の中には入らず、消えていってしまいます。授業中、その場にいれば先生の声は聞こえます。耳に入ってきます。しかしながら、それは学習していることにはつながりません。言葉が頭の中に残っていないからです。授業とは別のことを考えながら先生の話聞いていても、ひとつも身になりません。先生の話に耳を傾ける。話の要点をつかむ。自分なりに解釈をしようとする。大切なことは何かと考える。そのような聴こうとする意欲や処理能力である「聴く力」が、学力を伸ばしていきます。

「コミュニケーション力」という言葉も耳にしたことはあると思います。社会で生活していくうえでは、この力がとても重要です。どちらかというと、何を言うかという「話す力」に重点が置かれやすいものです。しかしながら、「聴く力」の方が、より大切ではないでしょうか。相手の話をしっかり受け止めるという「聴く力」。人は、誰でも自分のことを知ってほしいと無意識に思っています。ですから、しっかりと人の話を聴くことは、相手を認めることでもあるのです。

さらに、言葉のなかには、話し手の感情が含まれています。言葉の強弱、アクセントなどを読み取れば、話し手がどんな気持ちで発言しているのかが分かります。その点では、スマホや携帯電話のメールは劣る部分があります。コミュニケーション手段として使われるメールですが、同じ言葉であっても、強く主張しているのか、軽く言っているのか、真剣なのか、冗談なのかが分かりません。それが原因でトラブルになった人も少なくないと思います。実際に音声だったら、そして、「聴く力」が備わっていたならば、相手の感情を早めに察して、そのようなトラブルは少なくなるのではないのでしょうか。

3年生は私立入試の集中日を過ぎましたが、県公立高校入試を間近に控えています。私立高校でも県公立高校でも、面接を実施する学校があります。面接における志望動機や将来の夢などの質問には、「話す力」が問われます。しかし、「聴く力」が備わっていないと、面接官の質問の意図を勘違いしてしまい、的外れな返答になってしまいます。また、高校によっては、集団面接(集団討論)を実施しているところがあるかもしれません。ここで問われているのは「コミュニケーション力」です。他の人の意見を聴き、それを踏まえて自分の意見を言いながら討論を成功に導いていきます。人の意見を聴かず、一方的に自分の考えだけを述べているのであれば、どんなに素晴らしい意見であっても、高い評価を得ることはできないでしょう。まさに「聴く力」が問われているのです。日々の授業における話し合いの場面も同じです。

幸中生のみなさん、授業においても「聴く力」を発揮して、さらに学力を伸ばしていきましょう。

1年「スキー教室」での充実した学び【1/16-17-18】

奥日光湯元温泉スキー場を舞台に、三日間、スキー実習をはじめ、寝食を共にする校外学習が行われました。

生活面では、ご家庭での生活習慣が異なるなか、友達のもつ自分との「違い」を認め合ったり、学校では見えなかった友達の「よさ」を新たに発見したりすることができました。そして、何より、学年のみんなで楽しむために大切なことを学びまし。これからの中学校生活の糧になる学びでした。

スキー実習では、インストラクターの話をよく聴き、よく見て、挑戦することで自らの上達を実感し、「やばできる」ということを学びました。



第2回いじめ・非行防止ネットワーク会議 —幸中を思う気持ちに感謝—【1/24】

ネットワークを構成していただいている地域の皆様、ご協力ありがとうございます。生徒の変化、環境の変化、総じて学校の変化を、良くも悪くも鋭く指摘していただき、幸手中のさらなる発展に向けての示唆をいただきました。幸手中学校の生徒を大切に思うお気持ちに感謝いたします。



日	曜	2月の行事予定
1	金	①②⑤④③⑥の授業順
2	土	
3	日	
4	月	学校評議員会 PTA本部役員会・常任委員会 入学説明会
5	火	
6	水	1,2年実カテスト
7	木	評議会
8	金	2年校外学習 安全点検日
9	土	ハートフルサッカー教室
10	日	
11	月	建国記念の日
12	火	月曜授業
13	水	
14	木	
15	金	手をつなぐ子らの交歓会
16	土	
17	日	
18	月	↓ 県公立高校出願
19	火	↓ 表彰朝礼 専門委員会
20	水	
21	木	↓ 県公立高校志願先変更 ⑤⑥①②③④授業順
22	金	↓ ⑤⑥①②③④授業順
23	土	↓ テスト前諸活動停止期間
24	日	
25	月	3年期末テスト
26	火	生徒会朝礼
27	水	↓
28	木	県公立高校学力検査 3年給食なし 1,2年期末テスト
1	金	県公立高校実技・面接 3年給食なし 1,2年期末テスト
2	土	
3	日	

「学校の教育活動に関するアンケート」の結果について

過日、保護者の皆様に御協力いただきました、平成30年度アンケートの集計結果を裏面に掲載いたしました。

本校職員と保護者・生徒との回答内容に大きなギャップがあったものは、設問1です。教師は、分かる授業にするために務めていると回答していますが、保護者・生徒の思いはそうではないようです。研修等を通して“分かる授業”に一層努め、学力向上を図って参ります。また、設問2に関する深い生徒理解、設問9に関する家庭学習の習慣について、それぞれ指導の充実を図って参ります。

